

## 大阪府知事祝辞

大阪府知事の吉村洋文です。大阪公立大学の開学、そして入学式の開催にあたりまして、設立団体である大阪府として一言、ご挨拶を申し上げます。

この春、ともに 140 年のそれぞれ長い歴史と伝統を有する大阪市立大学、大阪府立大学、これを統合し、新大学の大阪公立大学が誕生いたしました。

みなさんはその一期生になります。みなさんは今、歴史の転換点に立っています。晴れて、本日、一期生となる皆さんをお迎えすることができたことを本当にうれしく思います。

また、10 年の長い間に渡りまして、かつてない規模のこの大阪府、大阪市それぞれの設置する大学の統合に取り組んでいただきました、新大学を実現された西澤理事長、辰巳砂学長をはじめとした法人・大学関係者のみなさんに、重ねてお礼を申し上げます。敬意を申し上げます。

世界は今、非常に混沌とした状態になっています。パンデミックとなりました新型コロナウイルスのまん延、ロシアによる戦争、グローバル経済の進展、様々な地球規模での環境問題、それから飛躍するデジタル技術、大きく時代が変わる転換点にみなさんはいます。

そうした中で、2025 年に「大阪・関西万博」も開催いたします。未来の先導役を果たすこの万博をぜひとも実現したいと、成功させたいと思えますし、そして未来を切り拓く人材、この新大学でみなさんが先導となっていただきたいと、そう思います。

両大学にはさまざまな学域があります。両大学の英知結集、それを一つに合わせて総合知として新たに生まれるこの新大学で、みなさんには様々な、たくさんのかことを学んでもらいたいと、そう思います。そして、新たなことにどんどん挑戦する人材に育ててもらいたいと思います。失敗することを恐れない。どんどん挑戦してください。むしろ、挑戦しないことを恐れる、そういった若者に育ててもらいたいと思います。

かつて幕末のころ、島津藩のいわゆる薩摩隼人と呼ばれる人物評価が、

どういったものだったのか、ここで一つ紹介したいと思います。最も評価される人物・人材は、自ら挑戦して、成功する人物。そして次に評価される人材が、自ら挑戦して失敗する人物。三つ目、自分は挑戦しないけれども挑戦する人を支える人物。四つ目、何もしない人。そして最も評価が低いのが、何もせずに批判ばかりする人。僕はこの理念は今の時代にも通ずると思っています。

そして、新大学が生まれたこの時だからこそ、歴史的な転換点に立っている皆さんに、新たなことにチャレンジしてもらいたい、そう思います。失敗を恐れる必要は全くありません。

どんどん挑戦をしてもらいたい。特に若い時代のみなさんにはそれをお願いしたい。時代は大きく変わっています。

この世の中には不合理なこと、不平等なことがたくさんあります。でもその中で唯一すべての人に平等に与えられているものがあります。それは、時間です。みなさんこれから新しい大学生活を迎えることになります。大学生活の時間を大切に、学びの時間を大切に、一分一秒を大切に、この大学でたくさんものを学んでもらいたいと思います。そして新たなことにどんどんチャレンジしてください。この新たな歴史的転換点に立っているみなさんとともに、新たに第一歩を踏み出した大阪公立大学、新大学の成長とともに、みなさんが成長することを祈っています。そして、将来、大阪、大都市大阪、そして日本を引っ張ってくれるような人材になれることをご期待いたします。

これからのみなさんの前途ある将来を期待したいと思います。

結びに、新入生のみなさんの良き門出をお祝い申し上げますとともに、大阪公立大学のご発展、並びに本日ご臨席の皆様の方々の今後の益々のご健勝を強く心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和4年4月11日、大阪府知事、吉村洋文。本日は誠にありがとうございます。

令和4年4月11日  
大阪府知事 吉村 洋文